



滋賀県議会議員

Okumura Yoshimasa Kensei Report

# 奥村よしまさ 県政レポート

Vol.70  
令和6年8月発行



## 南海トラフ巨大地震への備えは継続を!

今月8日に宮崎県で発生し震度6弱の揺れを観測したマグニチュード7.1の地震を受けて、国からは、巨大地震に備えて防災対策の推進地域に指定されている29の都府県の707市町村に対して地震への備えを改めて確認してほしいという呼びかけがありました。地震の発生から1週間でひとまず呼びかけの期間は終わりましたが、南海トラフ巨大地震発生の確率は今後30年以内に70~80%といわれており、国もいつ大規模地震が起きてもおかしくないことを意識し、ふだんから地震への備えを進めるよう継続して呼びかけています。実際その後に神奈川や茨城などでも震度5前後の地震が立て続けに発生しています。皆さん日頃の災害対策は大丈夫でしょうか。いつ来るか判らない巨大地震に対しては継続的な備えが重要です!

滋賀県議会6月定例会議にて下記項目について質問を行いましたので、一部抜粋・要約してご報告させていただきます。(令和6年7月2日一般質問より)

### 知事の標語ならびに政治姿勢について

昨年の標語「シン・ジダイ」について、「シン」には多くの意味とともに、これからの新しい時代を切り拓いていくのは、滋賀県にいる私たち、という知事の思いも込めておられます。その中の未来に伸びるの「伸」として、「子ども、子ども、子ども」を挙げておられますが、子どもにおける最重要政策課題の一つとして少子化の克服があります。しかしながら、私の目には少子化対策について積極的な姿勢が見えないように思います。消滅可能性都市に、町ではなく、市である高島市が加わり、合計特殊出生率も滋賀県も過去最低を更新しています。そんな悠長な姿勢では、滋賀県西部地域は壊滅してしまいます。知事は県のトップとして、少子化への危機感について強いメッセージを出す必要があると考えますが、知事の決意を伺います。



#### <知事の回答>

数字に左右されて言うのではなく、やはり「子ども・子ども・子ども」、子どものために、子どもとともにつくる県政をつくらうじゃないかということを一歩早く打ち立てながら、皆さんのご理解もいただき、様々な諸政策を充実させようとしているところですので、私は危機感というよりも、むしろ前向きな取組を醸成させていくことこそが重要ではないかと考えています。

また、子どもを持つこと、生きていくことの大宗は個人の価値観によるところが大きいので、一人ひとりが持っている考え方を尊重することも大事なことではないかと思っています。また、我々、大人の世代が親であることを楽しんだり、子どもと一緒にいることをポジティブに捉えられるような生き方も醸成させていきたいなと思っています。

今年の標語「ともに生きる」について、2月定例会議に提案説明において、「今をともに健やかに生き、世界とともに、水とともに、ともに明日を生きるため、「ともに生きる」を大事にしたい」と表明されました。能登半島地震などを受けて、被災者に寄り添うなどの心境があったのか定かではありませんが、今年の標語に選ばれた背景について伺います。

#### <知事の回答>

議員からのご質問にあるように、能登半島地震によって多くの被害がもたらされ、尊い命が失われたこと、戦争もある、またコロナ禍もあった等々、やはり生きていくことの尊さ、ありがたさ、また、ともに生きることの難しさを実感する毎日ですので、「ともに生きる」という言葉を投げかけながら、みんなで力を合わせて生きていくことを大事にしたいということと呼びかけているところです。

変化に対応しながら、「シン・ジダイ」をみんなでつくるなかで、いのちを大切に、自分らしく健やかに、みんなで助け合い、支え合って生きていける「健康しが2.0」、これは進化させ進めていきたいですし、老いや病、弱さや衰え、死を直視しながら、ともに生きていくことに喜びや楽しさを感じられる滋賀をみんなでつくりたいという思いを、「ともに生きる」という言葉に込めて表現させていただきました。

知事には4年前にも同じことを言いましたが、最近我々議員に対して「一緒にやりましょう」の言葉が少なく感じます。「こんにちは三日月です」と称する県民と知事との直接対話についても、令和5年度以降ホームページが更新されていません。今一度初心に戻っていただき、県民の皆さんや職員の皆さん、そして我々議員に対しても真摯に向き合ってほしいと思いますが、所見を伺います。

#### <知事の回答>

多くの皆さんと対話しながら、共感を得て、一緒につくる滋賀県政、この初心、初志は忘れずこれからも頑張りたいと思います。「こんにちは!三日月です」は、昨年度も実施していたのですが、更新できていなかったことは早急に改善していきたいと考えています。

たしかに、関西広域連合や全国知事会の仕事もあり、以前とは違う公務等も増えてきましたが、やはり、原点・現場は滋賀ですし、県民の皆さんのお声をしっかりと承る活動は、これからも積み重ねてまいりたいと思います。また、私一人で、全県、あらゆる立場の方々とお話するのは困難な面もありますので、ぜひ、県民を代表される議員の皆様との対話も、しっかりと積み重ねてまいりたいと思います。最後に言わせてください。一緒に頑張りましょう。

令和に入り「健康しが」や、「卒近代」、「シガリズム」、「シン・ジダイ」、「ともに生きる」、これに、基本構想の基本理念「変わる滋賀 続く幸せ」なども加わって、正直なところ標語を変えずだと思っています。県民の皆さんも全くついていけないのではないのでしょうか。上辺だけに終わることのないよう実のある県政を進めていきましょう!



### ● 関西広域連合議会 議長に就任いたしました ●

今年6月29日に開催された関西広域連合議会臨時会におきまして、関西広域連合議会 第15代議長を拝命いたしました。

関西広域連合は滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市の2府6県4政令市が参加する広域行政を担う責任主体として活動しており、今年で設立から14年を迎えました。この間、災害派遣や新型コロナウイルス感染症への対応など着実に実績を積み重ねるとともに、文化庁などの政府機関等の地方移転を実現させてきました。

今後オール関西による更なる取り組みの強化が期待される中、議長として住民の皆さんの思いを受け止めながら、しっかりと意見を申し上げ、関西の発展のために責務を果たしてまいります。



滋賀県議会議員  
環境・農水常任委員会 / 議会運営委員会  
琵琶湖・森林政策特別委員会  
関西広域連合議会  
議長

自民党滋賀県支部連合会  
財務委員長  
第三選挙区支部  
幹事長

(地域での主な役職)  
・滋賀県体操協会 会長  
・草津市スポーツ協会 会長  
・滋賀県柔道整復師会 顧問  
・草津市バレーボール協会 会長

・社会医療法人「誠光会」理事  
・滋賀県生活衛生協会 顧問  
・滋賀県トラック協会 顧問  
・滋賀県電気工事工業組合 顧問  
・滋賀ビルメンテナンス協会 顧問

活動日記毎日更新中!

奥村よしまさ 検索



LINE  
公式アカウント



# 奥村 芳正

事務所 〒525-0041 草津市青地町692-15 サンハイム東草津1F TEL:077-567-1500 FAX:077-567-1588  
自宅 〒525-0042 滋賀県草津市山寺町477 TEL:077-562-4841 FAX:077-567-1588

facebookもチェック! → 奥村芳正

代表質問 6月定例会議



質問者 柴田 清行 議員

能登半島地震等を踏まえた  
災害対応体制の強化について

Q 能登半島地震や過去の災害も踏まえ、地震災害から県民の命を守ることにについて考えを伺う。

A 能登半島地震等の教訓や、今後、示される国の防災基本計画の修正内容、および県の災害対応体制の検討を踏まえ、「滋賀県地域防災計画」の修正を進めさせていただいております。激甚化する自然災害から県民の命を守るため、市町とともに自助・共助・公助による地域防災力の向上を図り、災害に強い滋賀を創ってまいります。

健康長寿の滋賀づくりについて

Q 国スポや障スポをきっかけにして「健康しが」づくりをどのように進展していくのか、伺う。

A 大会の準備や開催を契機といたしまして、県民の健康づくりの機運を醸成いたしますとともに、多様な人々が共に理解し、支え合う共生社会の実現につながる施策を積極的に推進していきたい。また、大会終了後も、継続的な取組をさらに前に進め、健康しがの実現に向け、健康長寿日本一を目指してまいります。

魅力ある国スポ・障スポの  
準備状況について

Q 円滑な大会運営と、道路等の環境整備の状況を伺う。

A 円滑な大会運営に当たりましては、道路等の環境整備も重要であると認識しており、大会に向け、開・閉会式会場や各競技会場周辺のアクセス道路や河川、都市公園において、舗装の修繕や伐木、除草、植栽管理に集中的に取り組むこととしております。また、地元自治体や交通事業者等と連携し、交通集中が見込まれる開・閉会式会場周辺の道路における交通規制の周知や、企業へのテレワークの推奨など渋滞対策を検討してまいります。

Q 子ども達の観戦や県独自の取組について具体的な考えを伺う。

A 県内の小中学校や特別支援学校の児童・生徒の皆さんには、会場での観戦や応援を通じてスポーツの魅力を感じていただき、また、高校生の皆さんには、教育活動の一環として大会運営に携わっていただくなど、様々な形で子ども達が両大会に関われるよう準備を進めてまいります。

本県経済の活性化について

Q 万博開催や大河ドラマといったチャンスを活かし、インバウンドの誘致等に取り組むのか。

A 万博開催前から本県への注目を高めるよう、本年秋からシガリズムをテーマに観光キャンペーンを展開し、国内外からの誘客を図ることとしております。特に、東アジアに対しましては、先月の韓国メディアとの対談で手ごたえを感じたゴルフやピワイチなどのアクティビティを活かした誘客を進めるとともに、ヨーロッパに対しましては、本県ならではの宿坊体験やナイトミュージアムなどの文化コンテンツを活かした本物の価値を体験いただけるツアー造成に取り組むなど、ターゲットに応じた誘客を推進してまいります。

本県の農業・漁業政策の課題について

Q 農業・漁業の生産性向上・付加価値向上のための施策について伺う。

A 農業におきましては、生産性向上として、スマート農業技術による省力化、農地の集約化と大区画化、気候変動に対応した新品種の導入などの取組を進めている。漁業におきましては、生産性向上として湖魚(こぎよ)の持続的な利用に向けて、科学的な調査と評価に基づく資源管理型漁業を推進するとともに、付加価値向上として湖魚(こぎよ)のブランド力強化を図るため、鮮度や大きさなどの品質を統一した流通を促進しているところ。

滋賀県警察の警察力強化について

Q ぼけっとポリスの導入意図と運用状況及び今後の展開について伺う。

A 「ぼけっとポリスしが」については、これまで、特殊詐欺の予兆電話や、子どもに対する不審情報といった注意情報を、アプリの機能を生かしてタイムリーに発信しているところです。ダウンロード数は、本年度中、県民人口の約1パーセントとなる1万4,000件を目標としているところ、現状は1万3,800件と、日々増加しております。今後は一層の利用者数の増加を図るとともに、交通安全などの更に幅広い分野での発信・活用を行い、県民の安全・安心のための総合的な情報発信ツールとしての運用を目指してまいります。

Q 子ども対象の犯罪・交通事故の現状と取り組みについて。

A 犯罪被害防止につきましては、これまでから学校等における不審者対応訓練や、登下校中の見守り活動、子どもへの声掛け等の行為に対する検挙・警告を実施しております。また、インターネット上での不適切な書き込みに対する注意喚起や、学校での防犯教室等における被害防止のための知識の普及・啓発に努めております。

皆様の声を  
県政に届ける 20人

( )内は期数

●委員長 ●副委員長

野洲市



井狩 辰也(2)  
いかり たつや  
教育・子ども若者常任委員会  
地方創生・防災減災対策特別委員会

草津市



奥村 芳正(5)  
おくむら よしまさ  
環境・農水常任委員会  
琵琶湖・森林政策特別委員会

白井市



白井 幸則(2)  
しらい ゆきのり  
総務・企画・公室常任委員会  
行財政・DX推進特別委員会

大津市



副議長  
目片 信悟(4)  
めかた しんご  
総務・企画・公室常任委員会

桑野 仁



桑野 仁(3)  
くわの ひとし  
教育・子ども若者常任委員会  
地方創生・防災減災対策特別委員会

桐田 真人



桐田 真人(2)  
きりた まこと  
教育・子ども若者常任委員会  
公共交通・国スポ・県入大会対策特別委員会

栗東市



田中 英樹(1)  
たなか ひでき  
総務・企画・公室常任委員会  
地方創生・防災減災対策特別委員会

湖南市



菅沼 利紀(2)  
すがぬま としのり  
総務・企画・公室常任委員会  
琵琶湖・森林政策特別委員会

甲賀市



村上 元庸(2)  
むらかみ げんよう  
厚生・産業・企業常任委員会  
琵琶湖・森林政策特別委員会

小川 文人



小川 文人(1)  
おがわ ふみと  
環境・農水常任委員会  
琵琶湖・森林政策特別委員会

近江八幡市・竜王町



議長  
有村 國俊(4)  
ありむら くにおし  
厚生・産業・企業常任委員会

重田 剛



重田 剛(2)  
しげた たけし  
環境・農水常任委員会  
公共交通・国スポ・県入大会対策特別委員会

長浜市 彦根市・犬上郡 高島市



川島 隆二(5)  
かわしま りゅうじ  
教育・子ども若者常任委員会  
地方創生・防災減災対策特別委員会



柴田 清行(2)  
しばた きよゆき  
環境・農水常任委員会  
公共交通・国スポ・県入大会対策特別委員会



谷口 典隆(1)  
たにぐち のりたか  
厚生・産業・企業常任委員会  
公共交通・国スポ・県入大会対策特別委員会



海東 英和(3)  
かいとう ひでかず  
厚生・産業・企業常任委員会  
行財政・DX推進特別委員会

東近江市・日野町・愛荘町



加藤 誠一(3)  
かとう せいいち  
文スポ・土木・警察常任委員会  
公共交通・国スポ・県入大会対策特別委員会



周防 清二(3)  
すおう せいじ  
文スポ・土木・警察常任委員会  
琵琶湖・森林政策特別委員会



本田 秀樹(2)  
ほんだ ひでき  
文スポ・土木・警察常任委員会  
行財政・DX推進特別委員会



谷 成隆(1)  
たに しげたか  
文スポ・土木・警察常任委員会  
行財政・DX推進特別委員会